

日本語部

Japanese Language Ministry

2022年6月25日・26日

シリーズタイトル: 自信を持つ

今週のタイトル: **あなたは何を知っていますか？**

ローマの信徒への手紙 8:28-39

ロブ・ペナー牧師

三つの言葉: 望む、信じる、知る。

- それぞれの言葉は、私たちが何かについてどう考えどう感じるかについて、少し異なる意味合いを持っています。
- 私たちに対する神様の性質について、どの言葉を使うのが適切でしょうか？私は神様が私を愛していることを望んでいる？私は神様が私を愛していると信じている？それとも、神様が私を愛しておられると知っている？
- ローマ8章の終わりには、「信仰」は「知識」になります。
(8:28-38)

礼拝時間

午前 8 時 30 分、10 時、11 時 45 分

詳細は下記ページをご参照ください

<https://willingdon.online.church>

教会からのお知らせ

申込先はこちらより: http://eepurl.com/dC_JaL

8:28 5つの揺るぎない確信
8:29-30 5つの否定できない確信
8:31-39 5つの答えられない質問

(質問のうちの2つをひとまとめにします。そして、それぞれに付随する真理があります。)

質問1: 誰が私たちに敵対できますか? (31)

真理: 神様は私たちの味方です!

旧約聖書のイザヤ書の言葉を反映させます (イザヤ書50:8; 54:17)

質問2: 神様は (御子と一緒に) すべてのものを私たちに賜らないはずがありませんか。 (32)

真理: 主はご自分の御子を惜しまず、私たちすべてのためにお捨てになったのです。

質問3: だれが神に選ばれた者たちを訴えるでしょうか。 (33) だれがわたしたちを罪に定めることができますか。 (34)

真理: 神は義とされる! イエス様は御父の右の座で、私たちのためにとりなしておられます。

質問4: だれが、キリストの愛からわたしたちを引き離すことができますか。 (35)

真理: 私たちをキリストの愛から引き離すことは絶対にできません。

私たちは決して、困難や試練を神の不満と解釈してはいけません。

ローマの信徒への手紙 8:28-39

28 神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています。 29 神は前もって知っておられた者たちを、御子の姿に似たものにしようとあらかじめ定められました。それは、御子が多くの兄弟の中で長子となられるためです。 30 神はあらかじめ定められた者たちを召し出し、召し出した者たちを義とし、義とされた者たちに栄光をお与えになったのです。

31 では、これらのことについて何と言ったらよいだろうか。もし神がわたしたちの味方であるならば、だれがわたしたちに敵対できますか。 32 わたしたちすべてのために、その御子をさえ惜しまず死に渡された方は、御子と一緒にすべてのものをわたしたちに賜らないはずがありませんか。 33 だれが神に選ばれた者たちを訴えるでしょう。人を義としてくださるのは神なのです。 34 だれがわたしたちを罪に定めることができましょう。死んだ方、否、むしろ、復活させられた方であるキリスト・イエスが、神の右に座っていて、わたしたちのために執り成してくださるのです。 35 だれが、キリストの愛からわたしたちを引き離すことができましょう。艱難か。苦しみか。迫害か。飢えか。裸か。危険か。剣か。

36 「わたしたちは、あなたのために

一日中死にさらされ、

屠られる羊のように見られている」

と書いてあるとおりです。 37 しかし、これらすべてのことにおいて、わたしたちは、わたしたちを愛してくださる方によって輝かしい勝利を収めています。 38 わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、力あるものも、 39 高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです。